

海山便り 平成十一年

前略 合へえ喰へえ様。

4月、14日、我海鮮山鮮に、富久長の吟姫・おほさんがあつて参りました。第35回木陰淳月料理人盆を開催するにあたり、翌日吟醸酒協会もあらしにひとつ、今田美穂さんにお出し願えぬ、どうかと石澤に云ふ所のことをどう事、ヨシミヤーミホリンに会える。富久長の酒にピタリの旨肴を造ったる。気合を入れて当日を迎えた。富久長といふは華やかでフレーティな香り、私の店で何でも、肴のじやませず、しゃばらす。しかし、このお酒の虜になつたお客様も多い、自分で選び、自分の古で感じとり好きになつたのである。とても魅力のある酒だ。「コンペント」と美穂さんは登場した。手足が細いスレーターな美女だった。「初めて10時に集まり、すぐこの焼ものが終ったのが夜の11時過ぎ、なんど3時間の工程でした。土を成型するのは皆想いつた形造りでアイデアあふれる作品が出されたのですが乾燥の段階で水分が残っていたり、空気が入つていたのか素焼きをするなど、ベンジと割れてしまつてヒビの厚いものは水分が抜けないのでヒビが入りやす。試行錯誤をくり返し、ようやく七輪の上で乾かし、素焼きを終え、袖掛け、なんだかやきものらしさを感じたことで、本焼です。少しづつ、七輪の上で煮していきます。ドライヤーで戻すと、七輪の上で乾かし、素焼きを終え、袖掛け、なんだかやきものらしさをもつて、皆「ウックニイギレイだね」と感動の山風でした。自分で造った、オラの作品が「ち番」で至福のひとときを過す事ができました。信行君ありがとうございました。又やりましょ。

(中)

5月5日酒一筋の利守信行君を講師に、七輪陶芸なる会を行ひました。約2時間で、焼き上り、自分で造った、ごろみで乾杯、という予定でしたが、朝各々で乾杯、という予定でしたが、朝10時に集まり、すぐこの焼ものが終ったのが夜の11時過ぎ、なんど3時間の工程でした。土を成型するのは皆想いつた形造りでアイデアあふれる作品が出されたのですが乾燥の段階で水分が残っていたり、空気が入つていたのか素焼きをするなど、ベンジと割れてしまつてヒビの厚いものは水分が抜けないのでヒビが入りやす。試行錯誤をくり返し、ようやく七輪の上で乾かし、素焼きを終え、袖掛け、なんだかやきものらしさを感じたことで、本焼です。少しづつ、七輪の上で煮していきます。ドライヤーで戻すと、七輪の上で乾かし、素焼きを終えて、皆「ウックニイギレイだね」と感動の山風でした。自分で造った、オラの作品が「ち番」で至福のひとときを過す事ができました。信行君ありがとうございました。又やりましょ。

今まで見て来た10歳の中で、二泊りが働いている姿、これが細い体で動いている姿像が頭の中に浮かばなかた、しかし会が進むにつれて、酒を呑く度に、美穂さんが、出まし願えぬ、どうかと石澤に云ふ所のことをどう事、ヨシミヤーミホリンに会える。富久長の酒にピタリの旨肴を造ったる。気合を入れて当日を迎えた。富久長といふは華やかでフレーティな香り、私の店で何でも、肴のじやませず、しゃばらす。しかし、このお酒の虜になつたお客様も多い、自分で選び、自分の古で感じとり好きになつたのである。とても魅力のある酒だ。「コンペント」と美穂さんは登場した。手足が細いスレーターな美女だった。「初めて10時に集まり、すぐこの焼ものが終ったのが夜の11時過ぎ、なんど3時間の工程でした。土を成型するのは皆想いつた形造りでアイデアあふれる作品が出されたのですが乾燥の段階で水分が残っていたり、空気が入つていたのか素焼きをするなど、ベンジと割れてしまつてヒビの厚いものは水分が抜けないのでヒビが入りやす。試行錯誤をくり返し、ようやく七輪の上で乾かし、素焼きを終え、袖掛け、なんだかやきものらしさを感じたことで、本焼です。少しづつ、七輪の上で煮していきます。ドライヤーで戻すと、七輪の上で乾かし、素焼きを終えて、皆「ウックニイギレイだね」と感動の山風でした。自分で造った、オラの作品が「ち番」で至福のひとときを過す事ができました。信行君ありがとうございました。又やりましょ。

やべい、ステキな人じゃん。カワユイだ。と、じの中であがやってしまった。私が感じた。料理と富久長を合わせるのは難しいと思ったが、揚物でも、生物でも、肴のじやませず、しゃばらす。が、どうして軽い酒ではない旨酒!! なぜだ。今回の料理では、香りの出物を色々試してみた。木の芽味噌の大吟醸、開花風呂大吟醸は飲んで、刺身の甘味、それも、これを違和感なく酒だけで飲めます。どうよりも、多種の料理と合わせて楽しめる。お酒、どう感覺なのだ。食中酒としておすすめである。特に、龍深花風太吟醸、開花風呂大吟醸は飲んで良し食べてよしでした。下記は当日の海山料理です。美穂さんありがとうございました。

前菜

木の芽味噌
天豆

馬貝の味噌
関節豆

馬貝の味噌
黄味噌

馬貝の味噌
豆乳

豆乳

焼物

木の芽
金目鯛
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚巻

金目鯛
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

鍋

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

刺身

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

馬貝の味噌
金目鯛

魚

旬魚ヒロナガ

活魚料理お好み焼。

お花魚
立鱈

真子鱈

ヒラメ

自身では、風情がなさず
ぎます。旬の天然もの魚
は、口へ運ぶと、ぐくつす
るほど彈力があり、噛みは
嚙むほど味が出て来ます。
自身の味の深さをぜひ
舌験して下さい。彩マジック
酒との相性もおもしろい発
見がありますよ。

天然いわがき(大)
(南の海から解禁です。)

岩牡蠣 1,200円

あり鳥威

(初夏のいわがきが良い。)

活魚
炙り
生キモ

炙り
塩焼
(北海道産。今旨)

生
うに 1500

初鱈 刺身 たまご 200~
小柱と生樽漬 700

かき揚げ

魚
さとう
あぶり焼 2000円

活穴子 白焼
湯ひき
天婦羅 各1200

あなたは、白身の刺身幾つ食べた事が有りますか?。